

豊里



運動会通じ親睦と交流深める

「豊里地区市民大運動会」豊里町コミュニティ推進協議会主催（阿部洋一会長）は9月4日、豊里総合運動場で開かれ、20地区から約1200人が参加し、さわやかな汗を流しました。

運動会は地区民の交流を深めることと健康・体力づくりを目的に開かれています。参加者は和やかな雰囲気の中にも真剣に挑み、8種目で熱戦を繰り広げました。熱戦の結果、下町地区が優勝しました。

風追い祭りで五穀豊穰を祈る

伝統行事「風追い祭り」は8月20日、西野米岡地区で開かれ、地区内を練り歩き五穀豊穰を祈念しました。

祭りは、大うちわと風追いはやしで210日と220日の風を追い払うことで、秋の大豊作をもたらすといわれ開かれています。

山車には今年の干支の「申」を題材に孫悟空が飾られました。親子三代で参加した佐々木俊樹さんは「米の豊作と販売価格の向上を願いました」と話していました。



米山

秋山の自然通じ親睦を深める

「石越地区市民登山」は9月4日、仙台市泉ヶ岳で開かれ、地区住民など20人が参加し、登山を通じて親睦を深めました。

市民登山は、雄大な自然に触れながら難しい目的達成を通じ、参加者の連携と仲間づくりを目的にしています。

同日は、曇り空でガスがかかるなど、あいにくの天候でしたが、参加者同士声を掛け合いながら頂上へ。登山ならではの達成感を全員で共有しました。

石越



ネイチャーゲームで自然体験

「南方元気っ子クラブ」は9月4日、大嶽山交流広場で開かれ、地区内3小学校の3～6年29人が自然体験活動を楽しみました。

体験活動では草木や虫などを題材にしたフィールドビンゴゲームなどが行われ、チームに分かれて交流しました。同クラブは学校を越えて交流を図り、普段できない事を体験することで自主性、協調性などを養うことを目的に開かれています。



南方

迫力の和太鼓演奏で観客魅了

「ふれあい太鼓」(津山創作太鼓主催)は9月18日、津山公民館で開かれ、来場者は迫力ある和太鼓と躍動感あふれるよさこいに魅了されました。

これは、地域の親睦を深め、和太鼓に親しむことを目的に開かれ、よさこいを含む7団体が参加。見事な演奏と踊りに会場から大きな拍手が送られました。また、和太鼓体験コーナーもあり、奏者が直接指導。来場者は和太鼓を楽しく体験しました。

津山



9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします

迫



ダンスでさわやかな汗を流す

「第62回登米市はさま女性のつどい」は9月10日、迫公民館で開かれ、迫地区女性団体から約150人が参加。レクリエーションダンスでさわやかな汗を流しました。

市社会福祉協議会生活支援コーディネーターの伊藤修氏と清水智恵子氏を講師に、「南の島のハメハメハ大王」の音楽に合わせて楽しく体を動かしました。参加者は「笑いながら踊れる振り付けなので、地区の集会などでも実践したい」と話していました。

交通死亡事故ゼロ7千日達成

「平成28年秋の交通安全運動市民大会」は9月21日、登米祝祭劇場で開かれ、9月13日で交通死亡事故7千日を達成した葛籠淵地区コミュニティ推進協議会（千葉勝博会長）に登米市交通安全対策協議会と登米警察署長から褒状が贈られました。

千葉会長は「今回の表彰を地域で分かち合い、今後も死亡事故ゼロが続くよう交通安全運動に取り組んでいきたい」と決意を新たにしていました。

登米



東和



一服飲んで安全運転心掛けて

秋の交通安全キャンペーン「無事に行けっ茶作戦」(東和地区交通安全推進会議主催)は9月21日、東和総合支所前の国道346号で実施され、交通安全団体の関係者が安全運転を呼び掛けました。

同作戦は、お茶を飲んで休憩を取り、無事目的地に到着してほしいと実施され、関係者は通りかかったドライバーにお茶やチラシを配り、安全運転を呼び掛けました。お茶を手にしたドライバーは、笑顔で応えてくれました。

片倉氏石森と戦国時代を語る

石森コミュニティ運営協議会主催(渡邊義雄会長)の旧中田町名譽町民の片倉邦雄氏講演会は9月17日、石森ふれあいセンターで開かれ、地区内外から訪れた約130人が聴講しました。講演会は、同協議会が発刊した「石森歴史の散歩道」の記念行事として開かれたものです。

伊達家の重鎮、片倉小十郎の末裔である片倉氏は、戦国武将真田幸村と石森片倉家の関係など、ユーモアを交えて講演。来場者は、時に笑いながら熱心に耳を傾けていました。

中田

